

2025年度 10月期 入学試験問題

発達心理学専攻

発達臨床心理学コース

[博士課程（前期）]

専門科目

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入してから問題にとりかかること。
3. 問題1問ごとに、1枚の解答用紙を使用すること。1枚で書ききれない場合は申し出ること。
4. 問題【1】から【4】までの4問題に解答すること。
5. 解答の際には、最初に問題の番号を明記すること。
6. 試験時間は、11時から13時までである。
7. 試験終了後、答案を回収する。問題冊子は持ち帰ること。

【1】プレイセラピー、遊戯療法に関して以下の設問に答えなさい。

(1) プレイセラピーを遊戯療法と翻訳した時の不備に関して論じなさい。

(2) メラニー・クラインの創案したプレイテクニックに関して、その概略について、論じなさい。

(3) 投影同一化と抑圧との違いに関して論じ、これによってどのような展開が精神分析で為されたのか説明しなさい。

【2】 風景構成法の(1)実施方法、(2)検査者が書く枠の意義、(3)描画後のクライアントとテスターとやり取り、(4)解釈の際の注意点、について論じなさい。また、(5)他の心理検査と比較しながら、風景構成法の特徴について論じなさい。

【3】 発達障害を持つ子どもと親への支援を生物－心理－社会モデルを用いて論じなさい。

【4】 応用行動分析学によりアプローチでは、いわゆる「問題行動」の機能を分析した上でその低減に向けた支援プログラムを考える。問題行動の機能は4種類あることが明らかになっている。これら4つの機能とその具体的な行動を例に挙げて述べなさい。